

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	62				
施設名	すのまたふるさと学校体験学習施設	担当課	農務課	内線	2226
		地域名	清見地域		
指定管理者	巢野侯活性化事業共立組合				

1 施設の概要

施設所在地	高山市清見町巢野保750番地1			
設置目的	グリーンツーリズムの需要に応え、気軽に親しめる環境を整備し、心身ともに健全で豊かな市民生活の向上に寄与する			
施設の概要	木造2階建 延床面積504.05㎡			
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	譲渡	時期
		中期	同様のサービスを提供している民間事業者もあるため、民間主体による効果的な管理・運営に向け民間へ譲渡（譲渡先がない場合は廃止）する。	

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	非公募	
現在の指定期間	令和 6 年度	～ 令和 11 年度	(5 年間)	
利用料金制	有	評価区分	I (環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)	

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤
	非常勤 役員1.6人、社員・職員1.5人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
随時	施設や業務の状況を確認し、適切に管理されている。

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	0	1,975	2,493	2,214
前年度増減比 (%)			26.2%	△11.2%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法			利用後に現地で記入	件数	8 件	
	その他の手法							
	意見交換会	清見町まちづくり協議会						
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	運営内容に対する満足度	50.0	50.0					100
②	施設管理の満足度	12.5	75.0	12.5				100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	学校等の団体誘客から、個人やグループ等少人数誘客も必要ではないか。				今後の誘客活動の参考とします。		
	②							
	③							
	④							
市に対する意見	①	高山市内小中学校に野外教育授業の一環として利用してほしい。				関係部署に情報提供します。		
	②							
	③							
	④							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
農産加工体験(豆腐づくり、五平餅づくり、花餅づくり) 地元食材等を活用した食事及び物品の提供	魅力ある自主事業を通じてさらなる利用者の増加を期待したい。

業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
宿泊利用者 200人	宿泊利用者 30人
日帰り利用者 500人	日帰り利用者(体験) 172人
食事等の提供(自主事業) 2,000人	日帰り利用者(食事) 1,990人

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
接遇研修	スタッフ 年1回
避難訓練	スタッフ 年1回
機械器具の操作研修	スタッフ 年1回

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
公衆トイレの清掃及び雪下しを町内会の協力で実施	地域の連携によるきめ細かな清掃管理が行われている。
ひだ清見観光協会とホームページのリンクによるPR	ホームページによる利用者割合が高い。

6 収支に関する状況(経費の縮減) (単位:千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料		63	311	288	
	指定管理料	2,269	2,269	2,269	2,477	
	その他	144	109		124	
収入合計		2,413	2,441	2,580	2,889	
支出	人件費	509	513	535	727	スタッフ賃金等
	事務費	134	133	139	180	通信運搬費等
	管理費	1,650	1,654	1,837	1,699	光熱水費等
	事業費	50	81	33	121	消耗品購入等
	公租公課					
	その他					
精算金						
納入金						
支出合計		2,343	2,381	2,544	2,727	
指定管理業務収支		70	60	36	162	
自主事業収支		△117	1	92	△32	
全体収支		△47	61	128	130	
[法人税]		12	19	17	15	

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	C+ (26.0)	C+	市との連絡応答も迅速な対応であるうえ、施設を適正に維持管理している。
利用促進・サービス向上(30)	C+ (19.5)	C+	施設の性質上、大人数での利用が主となるが、新型コロナウイルスの流行以降、学校関係者の利用が減っている。宿泊事業の利用者数が増加している。 自主事業の利用実績は良好なので、自主事業から宿泊利用へ誘客することが望ましい。
安定した管理能力(20)	C+ (13.0)	C+	接遇研修や機械器具の操作研修を通して、スタッフのスキルを維持している。施設環境についても地域との協力体制を構築し、適切な環境を維持できるよう管理体制を整えており、安定した維持管理を行っている。
経費の縮減(10)	C+ (6.5)	C+	光熱水費の減少は、利用者の減少に伴うものである。令和5年度から通信運搬費として広告費を計上し、施設のPRに努められており、今後の利用者増加に期待する。
	* (*)	*	
総合評価	C+ (65.0)	C+	利用者のニーズ把握、事業見直しを検討するなどして、地域経済や雇用に寄与する施設として維持してもらいたい。食事の提供や豆腐、五平餅づくり等の魅力的な体験プログラムを通じて、利用者の増加に期待したい。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	64				
施設名	高山市彦谷の里滞在型農園施設	担当課	農務課	内線	2226
		地域名	清見地域		
指定管理者	彦谷の里管理組合				

1 施設の概要

施設所在地	高山市清見町夏廬667番地33、674番地6、687番地1、687番地3			
設置目的	グリーンツーリズムの需要に応え、気軽に親しめる環境を整備し、心身ともに健康で豊かな市民生活の向上に寄与する。			
施設の概要	滞在施設付き農園32㎡11区画、滞在施設付き農園16㎡9区画、直売所1棟			
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	譲渡	時期
		中期	同様のサービスを提供している民間事業者もあるため、民間主体による効果的な管理・運営に向け、民間へ譲渡（譲渡先が無い場合は、施設のあり方を再検討）する。	

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	非公募
現在の指定期間	平成 31 年度 ~ 令和 5 年度 (5 年間)		
利用料金制	有	評価区分	Ⅱ(収益施設(観光施設・市営駐車場))

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員1人
	非常勤 パート・賃金5人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
随時	施設や業務の状況を確認し、適切に管理されている。

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	865	834	1,616	2,820
前年度増減比 (%)		△3.6%	93.8%	74.5%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法			入居者からの調査		件数	19 件
	その他の手法							
	意見交換会	清見町まちづくり協議会						
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	施設管理、運営全般に対する満足度	36.8	42.1	15.8	5.3			100
②								
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	都市住民と地元との交流の場として、今後も地域振興を進めていた				引き続き進めていきます。		
	②	スタジャンの高齢化に伴い、運営を円滑に進める上で若い羊の育成が必要ではないか。				地域や関係者の意向を伺いながら協議を進めます。		
	③							
市に対する意見	①	民間への譲渡対象となっているが、指定管理者と円滑に協議を進				地域や関係者の意向を伺いながら協議を進めます。		
	②	めてもらいたい。						
	③							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
キャンプ場の運営、農産物販売、自然観察会	近年のキャンプブームと相まって、組合の収益向上を図りつつ、グリーンツーリズムの振興にも寄与している。

業務計画における達成状況	
実施目標	達成状況
入居目標全20棟	全棟入居を達成している
移住者を確保する	利用者の移住にはつながらなかったものの、地域への愛着は深まっている。

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
器具操作研修	スタッフ 2回

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
地域との交流を図るための各種体験イベントの実施	入居者とともに実施
	自然観察会やスノーシュー体験など入居者とともに実施

収支に関する状況(経費の縮減)						(単位:千円)
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料	9,135	9,308	8,785	8,889	施設使用料
	指定管理料	15	15	15	550	
	その他	30				
収入合計		9,180	9,323	8,800	9,439	
支出	人件費	1,356	1,920	1,849	1,917	スタッフ賃金等
	事務費	1,838	1,199	885	982	通信運搬費等
	管理費	4,754	4,632	4,337	4,358	光熱水道費等
	事業費	85	77	253	501	消耗品購入等
	公租公課	199	226	379	438	消費税
	その他					
	精算金					
	納入金					
支出合計		8,232	8,054	7,703	8,196	
指定管理業務収支		948	1,269	1,097	1,243	
自主事業収支		370	1,239	1,914	1,153	
全体収支		1,318	2,508	3,011	2,396	
[法人税]		247	387	435	507	

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(30)	c+ (19.5)	c+	地域の実情に通じた職員を中心に地域ぐるみで施設の適正管理が継続されており、利用者が農業に親しめるような活動に努めている。
利用促進・サービス向上(40)	b (30.0)	b	施設への入居状況は継続して100%となっている。施設管理運営に対する利用者満足度も高く、良好な管理状態である。
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	入居者のみならず一般応募者も含めたイベント参加を通して地域との交流を図っており、施設の魅力アップに貢献している。スタッフは長年地域住民を雇用しており、蓄積されたノウハウにより的確に管理運営している。
経費の縮減(10)	c+ (6.5)	c+	常勤職員は最低限の人員としつつ、利用状況に応じて臨時スタッフを雇用するなど柔軟な人員配置を行っている。施設内の修繕を入居者と共同実施するなど、経費縮減とともに施設への愛着の形成に貢献している。
	* (*)	*	
総合評価	B (71.0)	B	地域住民の雇用や地域ぐるみによる体験事業を実施することは、入居者と地域の仲間意識が構築されるとともに、協働意識により適切な施設管理にも貢献している。自主事業による財源確保にも努めており、安定した経営維持が図られている。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	135					
施設名	おっぱら自然体験センター	担当課	農務課		内線	2226
		地域名	清見地域			
指定管理者	(一社)おっぱら夢組合					

1 施設の概要						
施設所在地	高山市清見町大原 600					
設置目的	グリーンツーリズムの需要に応え、気軽に親しめる環境を整備し、心身ともに健全で豊かな市民生活の向上に寄与する。					
施設の概要	本館1棟 体育館1棟 グラウンド3,054㎡					
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	譲渡	時期	中期	地域の活性化に向けた活動を行うための拠点として、地域等へ譲渡（譲渡先がない場合は、施設のあり方を再検討）する。

2 指定管理者制度の導入状況				
制度の当初導入	平成 19 年 4 月		募集の方法	非公募
現在の指定期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度 (5 年間)			
利用料金制	有	評価区分	I(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)	

3 適正な管理に関する状況						
管理職員の配置						
配置人員	常勤	社員・職員0.9人				
	非常勤	パート・賃金4人				

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果						
実施日	調査内容及び結果					
随時	施設や業務の状況を確認し、適切に管理されている。					

4 利用促進・サービス向上に関する状況				
施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	794	1,624	2,700	2,941
前年度増減比 (%)		104.5%	66.3%	8.9%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法	利用後に調査		件数	55 件		
	その他の手法							
	意見交換会	清見町まちづくり協議会						
アンケート結果 (%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	施設全体の満足度	89.1	9.1	1.8				100
②	職員の態度	89.1	3.6	1.8			5.5	100
③	施設の衛生管理	85.5	10.9	1.8			1.8	100
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	ふるさと清見21や昨年開業したホテルと連携して誘客及び地域振興に取り組んではどうか。				連携した取り組みができるよう検討します。		
	②							
	③							
	④							
市に対する意見	①	施設の老朽化に伴い、修繕及び備品更新を順次進めてもらいたい				緊急性の高いものから順次適切に対応します。		
	②							
	③							
	④							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
農業体験、砂金採り体験、熱気球搭乗体験、自然散策（ナイトハイク）、川遊び魚つかみ、雪遊び	地域資源を活かした自然体験や熱気球体験などの魅力が利用客を引き付けており、誘客に貢献している。

業務計画における達成状況	
実施目標	達成状況
宿泊利用団体 9団体	宿泊利用団体 12団体
日帰り利用団体 7団体	日帰り利用団体 5団体

5 安定した管理能力に関する状況	
人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
体験イベント指導講習	スタッフ 1回
避難訓練	スタッフ 2回
自然体験セミナー	スタッフ 1回

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
地元住民による施設維持管理の実施	地域住民との連携により施設の維持管理を行った。
地元団体と共同イベントを開催	地域住民や地元団体との共同イベントを開催した。
地元清見小学校の校外学習の受入れ	清見地域の魅力を体験の中で伝えた。

収支に関する状況（経費の縮減）						（単位：千円）
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料	272	802	1,301	1,559	施設利用料
	指定管理料	4,297	3,989	3,989	4,395	
	その他					
収入合計		4,569	4,791	5,290	5,954	
支出	人件費	3,354	3,343	3,358	3,829	スタッフ賃金等
	事務費	277	324	298	345	通信運搬費等
	管理費	868	1,027	1,229	1,282	光熱水費等
	事業費	30	51	80	84	消耗品購入等
	公租公課			240	270	消費税
	その他					
	精算金		2		58	精算項目不用分
	納入金					
支出合計		4,529	4,747	5,205	5,868	
指定管理業務収支		40	44	85	86	
自主事業収支		13	39	17	8	
全体収支		53	83	102	94	
〔法人税〕		40	17	45	54	

指定管理者の評価			
項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理 (40)	c+ (26.0)	c+	施設管理を適正に行うとともに、消火訓練や避難訓練の実施など、利用者の安全対策の向上を図り、適切な管理体制が構築されている。
利用促進・サービス向上 (30)	b (22.5)	b	通年で施設活用ができるよう自主事業の内容を充実してから利用者数は増加傾向にある。モニタリング調査の結果も満足度が高く、今後も継続して事業を実施してもらいたい。
安定した管理能力 (20)	b (15.0)	b	地域との協力関係も良好であり、長年の管理によりイベント運営や施設運営のノウハウが蓄積されており、良好な管理状況である。
経費の縮減 (10)	c+ (6.5)	c+	燃料費高騰かつ利用者数増等という状況でありつつも光熱水費は昨年並みとなり、日常的な経費削減の努力が感じられる。
	* (*)	*	
総合評価	B (70.0)	B	地域住民との協力により体験メニューを考案するなど閑散期に集客する対策を講じると共に、地域独自のメニューを生かしたイベントの開催など運営向上に取り組んでおり、モニタリング調査の結果からも高い満足度となっている。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	142				
施設名	高山市荒城農業体験交流館	担当課	農務課	内線	2226
		地域名	国府地域		
指定管理者	飛騨農業協同組合				

1 施設の概要

施設所在地	高山市国府町八日町651番地2			
設置目的	知識の習得や体験を伴う農林産物づくりを通して、食文化の工場や地域の活性化を図る。			
施設の概要	農業体験交流館69㎡、野外便所37㎡、炭焼小屋兼作業所105㎡、東屋、室、自転車置場			
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	譲渡	時期
		—	施設の有効活用を図るため、他の用途にも利用できるよう利用者と地域住民と調整しながら多機能化を図る。	

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 20 年 4 月		募集の方法	公募
現在の指定期間	令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 (5 年間)			
利用料金制	有	評価区分	Ⅰ(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)	

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員1人、契約社員・嘱託2人、パート・賃金1人
	非常勤
業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
随時	施設や事業の状況を確認、適正な管理、事業が実施されている。

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	2,299	2,124	2,851	2,699
前年度増減比 (%)		△7.6%	34.2%	△5.3%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法	施設利用者(令和6年1月～3月)を対象としたアンケート調査		件数	23 件		
	その他の手法	農業小学校保護者等へのアンケート調査(69名のうち36名が回答)						
	意見交換会	国府町まちづくり協議会						
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	自主事業利用者・管理運営全般の満足度	30.4	47.8	21.7				100
②	農業小学校の利用者(保護者)・管理運営全般の満足度	100.0						100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	大人向けの農業に関する講座があっても良いかと思います。				実施について検討します。		
	②							
	③							
市に対する意見	①							
	②							
	③							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
食農教室(計4回実施)	昨年まで実施していたツアーや体験は実施できなかった。

業務計画における達成状況	
実施目標	達成状況
荒城農業小学校の在校生80名	69名の在校生となった。
里山の暮らし継続保存事業60回	53回の実施、総参加者数317名

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
操作訓練	スタッフ 2回
消火訓練	スタッフ 1回
避難訓練	スタッフ 1回
地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
野菜の販売体験での地域協力	JJA直売所での販売体験実施
地域協力による広報活動	店舗でのポスター掲示や直売所加入地域農家へ協力依頼

6 収支に関する状況(経費の縮減)					(単位:千円)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料	781	942	1,049	1,034 施設利用料
	指定管理料	19,707	19,709	19,709	21,349
	その他	217			202
収入合計		20,705	20,651	20,758	22,585
支出	人件費	12,495	12,622	11,625	12,317 スタッフ賃金等
	事務費	409	415	445	384 通信運搬費等
	管理費	3,574	3,639	3,744	3,677 光熱水費等
	事業費	2,652	2,524	3,016	3,427 消耗品購入等
	公租公課	1,291	1,341	1,260	1,348 消費税
	その他				
	精算金	282	14	334	561 精算項目不用分
納入金					
支出合計		20,703	20,555	20,424	21,714
指定管理業務収支		2	96	334	871
自主事業収支					3
全体収支		2	96	334	874
[法人税]					

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	c+ (26.0)	c+	法定点検の適正な実施や緊急時の利用者対応能力の向上に努めるほか、備品等の整理整頓、清掃活動に心がけており、適切な管理体制が整えられている。
利用促進・サービス向上(30)	b (22.5)	b	少子化等の影響で在校生が減少傾向であるが、利用者からの評価が高く地域に必要とされる施設である。幅広い世代をターゲットとした事業を検討するなど、利用者数の増加、施設の有効活用を図ってほしい。
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	スタッフや講師を地域住民から雇用するなど地域の協力の下に、指定管理者の組織力と運営ノウハウを生かした運営がなされており、安定した管理体制が構築されている。
経費の縮減(10)	c+ (6.5)	c+	燃料費高騰の状況の中、利用者と共に光熱水費の削減に努め、職員が極力自力で修繕等を行うなど経費削減に努めた。
	* (*)	*	
総合評価	B (70.0)	B	指定管理者の組織力と長年の運営ノウハウを活かすとともに、地域との協力により円滑な事業の推進など地域活性化に資する活動を行っている。少子化等の影響もあるが、地域貢献に寄与する施設として維持できるよう、利用者数の増加に向けた取り組みを検討する必要がある。